別海町立西春別小学校　学校だより

か　ら　ま　つ　　No. 12

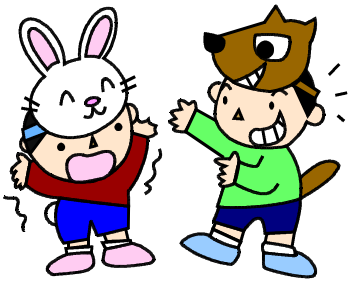
平成２８年１０月３１日発行　　発行責任者　校長　野口　泰秀

学校全体で落ち着いた生活に取り組む

校長　野　口　泰　秀

先週１０月２８日（金）は、寒い中、スケートリンクの草刈り・整備作業にお力添えをいただき大変感謝申し上げます。また、１０月１５日（土）は、地域・保護者の皆様にご参会いただき、西春別小学校の学芸会を盛大に開催することができました。本当にありがとうございました。

学芸会は、１年生の元気な挨拶ではじまりました。器楽演奏は、低学年も中・高学年も大変上手でした。劇は、それぞれの学年のよさが出た楽しい演技が行われておりました。台詞の声量や言い回しも実に良かったと思います。どの劇も終わるたびにたくさんの拍手が沸き起こりました。全校で取り組んだ「江差もちつきばやし」は、４５名で演じているとは思えないくらい、ステージが狭く感じました。最後の全校合唱では、一人一人の心が一つになった瞬間を見ることができました。



学芸会終了後には、自分のお子さんの学年だけでなく、全ての学年の演目に賞賛をいただく声が聞かれました。また、多くの保護者の皆様が後片付けのお手伝いをしてくださいました。感謝申し上げます。

さて、学校の１年というのは、日常の学習指導のほかに運動会や学芸会など大きな学校行事を節目に心や体の成長を目指しています。しかし、行事が終わると目標を見失うためか、やや気持ちが抜けてしまう側面も見られるのです。そのため、①子どもたちがそわそわして落ち着かない。②子どもたちの中でトラブルが生じる言動が見られる。ことになります。そこで、西春別小学校では、子どもたちが落ち着いて学習に向かうことができるように、学校全体で次のことに取り組みたいと思います。

ー言葉遣いー

- **授業中においては、子どもたちに敬称（○○さん、○○くんなど）をつけて名前を呼ぶ。**
- **学校の１階にも掲示していますが、うれしい言葉（ふわふわ言葉）を広め、傷つける言葉（ちくちく言葉）をなくす取り組みを行う。**

このことは、学校はもちろんのこと、家庭でも一緒に取り組んでいただけるとより落ち着いた生活ができるようになると思います。今後とも、西春別小学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

２学期に頑張って欲しいこと③・・・「心がまえ」

「かまえ」には、準備を整えること。という意味があります。
２学期は、準備を整えて学校生活に望み、正しい理解や良い判断ができる子に育って欲しいと願っています。
さて、「心がまえ」とは、心の準備をすることです。たとえば、

- **休み時間から勉強時間へ心を切りかえること**
- **すぐに勉強できるように机の上に教科書やノートなどがそろっていること**
- **最後までやりとげる気もちをもつことです。**

心がまえをもつことは、正しい価値ある判断力と思慮深さが身につきます。